

専如門主を迎え仏婦大会□1
阿弥陀さまと私□2
新・祖蹟点描□3
青色青光□4
近畿地区仏教婦人会大会□6
各地で災害□8
「和顔愛語」の原拠□9
響流十方□10
つれもて聴こら□12



2020年(令和2年)
1月1日
第122号

発行:「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 TEL(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>



大会でお言葉を述べられる専如門主

専如門主を迎え

和歌山で近畿地区仏教婦人会大会

6教区から1900人が参集

第42回西本願寺近畿地区仏教婦人会大会が10月23日、専如門主で臨席のもと、「地球とともに生きているこのいのちをありがとう」を大会テーマに、盛大に開催された。

喜びを一人でも多くの方へとお言葉

会場の和歌山県民文化会館大ホールには、滋賀・京都・奈良・大阪・和歌山・兵庫の近畿6教区から1900人の仏教婦人が参集。開会式で専如門主は、「私たちは、日々不思議な縁でこのいのちを生き

る本願は、いくたび生を重ねてもあえるものではなく、まことの信心はどれだけ時



参加者で埋まった会場

を経て得ることはできない。思いがけずこの真実の行と真実の信を得たなら、遠く過去からの因縁をよろこべ」と、記されています。今日の一日を阿弥陀さまのおはたらきのもとで過ですとき、私たちは、はるかな過去世からの縁の不思議に気付かされ、生かされているこのいのちを大切にしたいという思いが生まれます。

この人生において阿弥陀さまのおはたらきに出遇えことを有り難い縁であつたと喜べるのは大変尊いことです。皆さまには、この喜びを一人でも多くの方々に伝えていただきたいと思っています」

と、お言葉を述べられた。

⑥⑦面に詳報

台風19号で甚大被害

10月12日夜から13日未明にかけて東日本を縦断した台風19号によって、死者は13都県で99人、行方不明者3人に上り、住宅も16都県

で2万8079棟が全半壊するなど甚大な被害が出ている(12月12日現在)。

宗門でも東北・東京・長野・国府・新潟の各教区で被害が報告されている。

【8面に関連記事】

阿弥陀さま

ハウツー仏事と

私

大切な方の死を通し仏法に出会う

儀葬

前々号から「人生最後のセレモニー」である葬儀に関わる一連の法要を取り上げていますが、今号は本番の葬儀についてです。

②4 『浄土真宗本願寺派葬儀規範』(本願寺出版社)によると、門徒の方の場合、通夜勤行は自宅で行い、葬儀は自宅以外の場所(葬場)で行うことが従来からの基本となっています。

葬儀当日の本来の流れを申しますと、まず自宅のお仏壇の前で「出棺勤行」をお勤めしてから、出棺の際に自宅玄関で「路念仏」を唱えて出棺。葬列を組んで、葬儀を行うお寺の本堂や墓地の「サンマイ」(墓地内の葬場勤行を行うための場所。建物内の場合もある)などに移動して、「葬場勤行」をお勤めしたあと、火葬場で「火屋勤行」。火葬後の収骨のときに「収骨勤行」を行い、収骨後、自宅に戻ってきて、お仏壇の前で「還骨勤行」となっています。

しかし、昨今では葬儀をめぐる状況が著しく変化しています。知っておいていただきたいのは、現在主流となっている葬儀ホールでの葬儀は、本来は自宅からお棺を葬場へと送り出す前にお仏壇の前でお勤めする「出棺勤行」と、お棺を葬場へと運び入れてからお勤めする「葬場勤行」を、便

前に帰敬式を受けておられない場合は、出棺勤行に先立ち、住職がご門主に代わって剃髪式(おかみそり)を行って法名を授けます。ただし納棺の際にすでに行っていた必要ありません。

【おかみそり】故人が生

短念仏・回向をお勤めします。帰三宝偈は善導大師『観経疏』冒頭の偈頌です。【葬場勤行】三奉請・表白・正信念仏偈・短念仏・念仏・和讃二首・回向をお勤めします。正信念仏偈は「舌々節」と言われていたもので、短念仏のあとの念仏と和讃二首とともに、葬場勤行独特の節回しのお勤めです。

これはお釈迦さま入滅の際、そのことを悲しみ、沙羅双樹の葉が白くなったとの故事によるものです。

なお、浄土真宗では「清め塩」を用いませぬ。死を不浄であり穢れであるとするのは神道の考えに由来しており、仏教は生が有るから死が有る「生死一体」の教えであり、本来、死は不浄でも穢れでもありません。むしろ塩で清めようとするのは、故人を不浄と見なし、冒瀆する行為に当たりますので、おやめください。



葬儀のお荘厳の一例(海南共永社提供)

「清め塩」は使いません

【お荘厳】会場の正面中央には必ずご本尊(阿弥陀如来の絵像、または南無阿弥陀仏の名号)をお掛けし、お荘厳は五具足(中央に香炉、両側に口ウソク立て・花瓶を各一對)とします。適宜お供物を上げ、故人の法名を記した物(白木の位牌など)と遺影を置きます。このとき遺影などでご本尊が隠れないよう注意します。仏華は「紙華」という白い紙で作った華を4本一組にして用いるのが正式です。

浄土真宗における葬儀は、故人をしのびつつ、阿弥陀仏のお徳を讃嘆し報謝のまことを捧げる儀式であり、大切な方の死を通して、我が身を振り返り、仏法に出会う尊き縁です。人生の最後を飾るセレモニーであります。宗派の法式に則り、華美にならない程度に、できるだけ簡略化せず、丁寧にお勤めさせていただくことが大切なことであります。(松本教智・「御門の社会をめざす運動」和歌山教区委員長)

新

祖蹟点描

24 正林寺①



正林寺山門。向かって右には「圓光大師旧跡」
左には「小松谷御坊旧跡」の小さな石碑が立つ

法然聖人、九条兼実招かれる

前回から話は少し戻る。
東大寺で浄土三部經(無量壽經・觀無量壽經・阿彌陀經)の講義を行う1、2年前の1189年(文治5)8月1日、法然聖人(法然房源空聖人、1133〜1212)は、当時政治の中心にあった貴族・九条兼実(1149〜1207)の邸宅に初めて招かれた。このとき九条兼実は41歳で、幼い後鳥羽天皇(1180〜1239)に代わって政治を行う摂政の役にあつた。対する法然聖人は57歳。兼実の日記『玉葉』には、

「今日法然房の聖人を請じ、法門の語及び往生の業を談ず(原漢文)」、つまり、法然聖人を招き、仏教の言葉や極楽浄土に往生するための行いについて談じた、と記されている。

兼実が法然聖人を招き教えを聴こうとしたのは、その前年2月20日に跡継ぎと目した長男の良通を突然亡くしたことも背景にあった。

ことだったようである。
法然聖人が比叡山の黒谷で師事した叡空は、衰退していた円頓戒の復興を志した僧だった。法然聖人は叡空から円頓戒の戒脈(黒谷流)を相伝していたことから、いわば円頓戒の第一人者と見られていたのである。円頓戒の授戒は、最澄が伝えた中国・湛然(711〜782)の『授菩薩戒儀』による。その作法は①開導②三帰③請師④懺悔⑤発心⑥問遮⑦授戒⑧証明⑨現相⑩説相⑪広願⑫勸持

初めて九条兼実に招かれた7日後には、「法然聖人来て戒を授け、其の後念仏を始む」と『玉葉』にあるように、法然聖人は再び兼実に招かれ、このときは兼実に授戒し、そのあと兼実は念仏行を始めている。

ここでいう「授戒」とは、伝教大師最澄(767〜822)によって提唱された円頓戒(大乘戒)を授ける

ことだ。自分を含め他人をそしらない)・不慳(物惜しみしない)・不瞋(怒らない)・不誑三宝(仏法僧をそしらない)の各戒を授けることになった。

さて、その2年後の1198年(建久9)のこと、法然聖人は年初めてから体調を崩された。このとき法然聖人は66歳。現代なら80歳を超えている印象だろうか。周囲の人びとの頭に、このまま法然聖人が世を去ったという思いがよぎったとしても不思議ではなかった。

政治家としての兼実は、武家政権に接近し、源頼朝の支持を得て出世の階段を駆け上がった人物だった。1191年(建久2)に關白となり、翌1192年(建久3)3月に後白河法皇が没すると、その権勢は絶頂期を迎える。しかし、4年後の1196年(建久7)、反幕府派の源通親らの策謀により失脚し(建久7年の政変)、事実上、政治生命を絶たれてしまう。

今回訪れた正林寺は、小松谷正林寺とも呼ばれ、九条兼実が法然聖人を招いて法談を重ねた「小松谷御坊」があったとされる場所。【参考文献】『Web版新纂浄土宗大辞典』(浄土宗)(本紙編集部)

正林寺

場所 京都市東山区渋谷通東大路東入
3丁目上馬町553
電話075(541)8888
交通 JR京都駅から市営バス(2006系統)で13分、「馬町」下車、徒歩約7分。※大谷本廟から徒歩約12分。

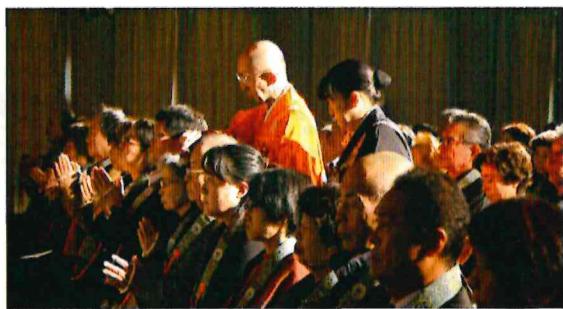
青色青光

鷺森別院で恒例の報恩講

御満座後、122人が帰敬式を受ける

本願寺鷺森別院では昨年11月24日から28日の5日間、恒例の報恩講が厳かに、にぎにぎしく勤められた。

連日午後1時30分(最終日は午前10時)からの法要は、仲尾信博輪番が導師を



おかみそりを受ける受式者

務め、和歌山教区内の僧侶が出勤してお勤め。参拝した和歌山教区内の門徒・僧侶らは親鸞聖人のご遺徳をしのんだ。お勤めのあとは、教区内特別法務員が4日に分けて『御伝鈔』を拝読、その後、南眞琴師(福井県三方郡美浜町・妙壽寺)の法話を聴聞した。

27日は、お昼から別院仏教婦人会のうどん・すし販売、別院若さぎ会の喫茶コーナー、和歌山組仏教婦人会のダーナ活動(募金のための手作り日用品販売)でにぎわった。午後2時20分頃からは、恒例の和歌山教区僧侶・寺族物故者追悼法要が書院で勤められ、午後7時から夜の法座を開

催。正信偈をお勤めし、続く通夜布教では、南眞琴師と和歌山教区内の布教使4人が11時まで、一人45分ずつ法話のリレー。

28日は、ご満座の法要に引き続き、帰敬式を実施。教区内から122人が受式。

報恩講の期間中、最終日を除く午前は、和歌山教区の各教化団体のつどいも開かれた。24日は仏教壮年会連盟、25日は寺族婦人会連盟、26日は門徒総代会、27日は仏教婦人会連盟が、いずれも南師を講師に研修会を開催し、午後は報恩講に参拝した。

街頭で募金呼びかけ

歳末恒例の助け合い募金実施

昨年12月3日、浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会和歌山教区支部が主催して、歳末助け合い街頭募金を実施した。呼び掛けに応じた教区内の僧侶・門徒27

人が、午後2時から3時までの1時間、JR和歌山駅周辺で、ティッシュを配りながら、通行人に募金を呼び掛けた。

この日集まった3万7872円は、社会福祉法人・読売光と愛の事業団に寄託され、被災地支援事業や障害者の福祉、子どもの福祉など、さまざまな社会福祉事業に活用される。

人が、午後2時から3時までの1時間、JR和歌山駅周辺で、ティッシュを配りながら、通行人に募金を呼び掛けた。

参加者で満堂となった本堂(浄國寺)



8年の活動を集大成

海南組で実践運動推進の集い

海南組では、

昨年11月17日に浄國寺(海南市黒江)で御同朋の社会をめざす運動「実践運動推進の集い」を開催した。

この集いは、組内寺院間、門信徒の交流を深め、実践運動の更なる推進を図るため実施され、組内住職、僧侶、

門信徒ら98人が参加。

まず、本堂で正信偈をお勤めし、松本教智組長がいさつ。続く講話では、「御同朋の社会をめざして」と題し、和歌山教区教務所賛事の津村清信が話した。休憩を挟み、シンガーソングライターの三浦明利さん(奈良県吉野郡・光明寺住職)が、「いのちのともしび」と題した音楽法話を行い、仏教説話のひとつ、キサーゴータミー説話を歌を交え語った。

現組長のもとでの実践運動8年間の集大成としてにぎやかに開催された。

一消息披露・総局巡回

僧侶・門徒ら80人が集う

昨年8月30日、鷺森別院で、親鸞聖人850年・立教開宗800年についてのご消息披露・総局巡回が開催された。

昨年1月9日に、第25代専如ご門主が发布した「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年についての

消息」の披露と、その趣旨演達を行い、来たる法要に向けた機運を高めるため、総局による教区巡回が行われた。披露式典では「重誓偈」のお勤めに続き、山下義円・浄土真宗本願寺派総務がご消息の披露と趣旨演達、その後、和歌山教区を代表して仲尾信博教務所長がご消息を拝受した。この日、公聴会も併催された。

サンフランシスコで世界大会

仏婦会員1700人が集う

浄土真宗本願寺派世界仏教婦人会連盟では、米国仏教婦人会連盟が担当し、

昨年8月30日(金)から9

月1日(日)の3日間、カ

リフォルニア州・サンフラ



世界中の仏婦会員が一同に会した総会

ンシスコ市にある「サンフランシスコ・マリオット・マーキス」で第16回世界仏教婦人会大会を開催。日本・北米・南米・ハワイ・カナダから約1700人が集い、国や言葉の違いを超えて交流を図った。

鷺森テレホン法話
073-422-0243

こころの電話(海南組西光寺)
TEL(073) 487-2430
ヤングこころの電話(同上)
TEL(073) 487-0404
こころの電話(御坊組専福寺)
TEL(0738) 44-0874

Live the Nem

butsu お念仏に生か

されてくをテーマにした本

大会は、仏教研究家の都路

恵子さん、ストックトン仏

教会の本好由紀子さんによ

る基調講演をはじめ、各国

の仏教婦人代表者の体験発

表、世界仏教婦人会連盟総

会、夕食懇親会など、豊富なプログラムで構成。

また、世界仏婦連盟プロ

グラム委員会が「お念仏に

生かされて」のテーマに

沿って、「第2次世界大戦

中におけるアメリカの強制

収容所とお念仏」や「九条

武子女史・秘めたる内面の

美」などのワークショップ

を提供。参加者は、盛りだ

くさんの内容で充実した3

日間を過ごした。和歌山教

区からも4人が参加。

本大会は4年に1回開催、

次回は2023年5月11日

12日を予定、担当は日本。

第22回子ども作品展、15人が入賞

和歌山教区少年連盟では、

昨年の鷺森別院報恩講(11

月24日(28日)から12月14

日の子ども集い「子ども

報恩講」までの21日間、

「子ども作品展」を鷺森別

院本堂で開催した。今年は、

書道の部62点、絵画の部3

点、ぬりえの部25点の合計

90点の応募があった。

教区子ども報恩講に71人



自作の紙飛行機を飛ばす児童院に集まった。

午前11時に開会、

小学校6年生らによる

献灯献花に続き、

らいはいのうたを大

きな声でお勤め。そ

の後、子ども会修了

証授与式、作品展表

彰式が行われた。昼

食は少年連盟委員ら

が用意したカレーラ

イスが振る舞われ、

午後からは、折り紙

ヒコキ協会の廣谷昌紀さ

んによる紙飛行機教室とレ

クリエーション。参加者は

楽しいひとときを過ごした。

和歌山教区少年連盟

厳正な審査により選ばれ

た入賞者は左記の方々。表

彰式は「子ども報恩講」で

行われ、多くの友だちや保

護者が見守るなか、仲尾信

博輪番から表彰状と記念品

が贈られた。

■書道の部

▽本願寺鷺森別院賞▽福

島杏果、山本友愛▽輪番

上田 夢、山本慧雄

■絵画の部

▽輪番賞▽宮本優仁▽

少年連盟特別賞▽板原原香

板原顕真

■ぬりえの部

▽本願寺鷺森別院賞▽西

川愛菜▽輪番賞▽笹田莉

央▽少年連盟特別賞▽板

原顕真

※敬称略

青色青光

朗読劇と講演で感動の一日

“生かされているいのち” 考える大会に

第42回西本願寺近畿地区仏教婦人会大会は、専如(せんじょ)門主のお言葉に続き、大会委員長で和歌山教区仏教婦人会連盟委員長の加藤克子(かとう かつこ)さん(和歌山西組万福寺)があいさつ。「私たち一人ひとりが、生かされているいのちを考え、その学びを、ご家族や友人たちに伝えていくきっかけとなるよう願っています」と、呼び掛けた。記念公演では、北海道内の浄土真宗の僧侶・坊守の有志からなる朗読塾・チームいちばん星が、2003年(平成15)に脳腫瘍によって11歳で亡くなった豊島加純(とよしま か純)さんの残した絵と詩をもとにした朗読劇『いのちのいろえんぴつ』を上演。記念講演では、仏教婦人会総連盟講師の田中(たなか)信勝(のぶかつ)さん(佐賀教区)が、「いのちの歌」と題し、大会テーマのヒントとなった竹内まりやさんの同名曲を踏まえ、仏教的・真宗的ないのちの見方について話した。参加者への配布冊子や和歌山特産のお土産を入れた和文様柄の布製手提げ袋は、和歌山刑務所の受刑者の方々による刑務作業製品(キャビック)が使われた。

会場が暗転し、朗読劇『いのちのいろえんぴつ』が始まった。



加藤克子委員長

北海道厚岸町(あしき)の厚岸望洋(あしき ぼうよう)小中学校に赴任してきた男性教師・香川(かがわ)先生。厚岸町

は人口1万2000人で、漁業と酪農(かよう)が中心の町。先生が受け持つのは5、6年生合わせて12人の複式(ふくし)学級。初日の授業のあと、香川先生は校長から、昨年、ク

言葉でたどる最期の日々

に2カ月ほど入院していたという事実を知らされる。1カ月が経ち、家庭訪問の日。加純の母は、娘は病

気が治ると思っている、最後まで本当のことを話すつもりはないと言う。

豊島加純さんが残してくれたいのちの授業



それからまた1カ月、加純は再び札幌(さっぽろ)の病院に入院することに。症状が悪化し、スムーズに歩けない。加純の見えないところで、やけを起こしそうになる両親。10日ぶりに学校に帰ってきた加純。それから数週間が経ち、加純は車イスを使わなければならないことに。家庭科の小山内(こやまうち)先生が、字が満足に書けなくなった加純に、ここにいろいろ書

「みんなの中に、確かに豊島加純は生きている」。最後は「加純にしかられないように、頑張ることにした。加純に笑顔であいたいから、おとおんとおかんは頑張ります」と母の言葉。会場には、感動で涙する多くの姿があった。



2階席まで参加者で埋まった和歌山県民文化会館大ホール

いてみたら、12色の色鉛筆とノートを渡す。夏休みに入る前、香川先生はクラスの子供たちに、加純さんがまた入院することになったと告げる。そして、病気が治らないことも、なぜ早く教えてくれなかったのかと責める子供たちに香川先生は、「教えたらかできたのか」と声を荒げてしまう。「すまない、先生は何もできなかった」。ナレーションが語る。

「(入院して)2カ月経とうとしていたころ、けいれんが始まり、お母さんが声を掛けると、加純は、声にはありませんでしたが『ありがとう』と伝え、お母さんも『加純、たくさんの幸せをありがとう』と応えたのでした。入院から56日後の秋の夕暮れ、たったひとつのかけがえのないいのちが静かに閉じました」。

歌われるのは「帰命無量寿如来、南無不可思議光」。それから半年、香川先生にとって厚岸での2回目の運動会。「プログラム4番のいのちの言葉」という声がかかる。「ここには、12色のいろがある。目立たない色もあるけれど、みんなががんばってる。ひとつ、ひとつ」と、全員で豊島加純さんの詩を唱和する。

「みんなの中に、確かに豊島加純は生きている」。最後は「加純にしかられないように、頑張ることにした。加純に笑顔であいたいから、おとおんとおかんは頑張ります」と母の言葉。会場には、感動で涙する多くの姿があった。

田中(たなか)信勝(のぶかつ)さん「いのちの歌」

過去、現在、未来と時間が流れ、物事には始まりがあり、終わりがあるといって、二一「直線的時間観」に対して、二一



あなたの幸せが私の幸せ

けれど、実際は同じ所をぐるぐる回っている。それと同じように、私たちは、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人

間・天上という六つの迷いの世界(六道)をぐるぐる回って出ることがない。終らないんです。そこに「苦

で迷っているということを前提にする必要があります。竹内まりやさんの『いのちの歌』の歌詞に、「本当

にだいたいなもの隠れて見えない、ささやかすぎる日々のなかでかけがえのない喜びがある」と、あります。その通りです。本当は見えていないんですが、私たちには仏さまのような「智慧」がないから見えないんです。本当に大事なものが見えていないから、いろいろな不満を持ち、人を傷付けたり、己を傷付けたりしながら生きていくというんです。

そういう私たちがお浄土を目指しながら生きていく。これが浄土真宗です。お浄土は、人間が考え出した世界ではありません。お釈迦さまがさとられた、私たち

(文責編集部)

各地で水害相次ぐ

義援金にご協力を

令和元年8月豪雨

黄海から西日本を通り東に延びる前線に暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、8月27日から九州北部地方を中心に局地的に猛烈な雨が降り、28日5時50分、佐賀県、福岡県、長崎県に大雨特別警報が発表された。九州北部地方では、降り始めからの降水量が600ミリを超えた所があったほか、佐賀県、福岡県、長崎県では、8月の降水量の平年値の2倍を超えるなど、



千曲川の堤防決壊で浸水被害を受けた真宗大谷派正覚寺(長野市津野八幡)

記録的な大雨となり、住家被害は全壊95件、半壊が877件となっている。佐賀教区内で被災した寺院は21カ寺、門信徒では703件が被害を受けた。佐賀教区において「令和元年8月豪雨災害義援金」を受け付けています。

【郵便振替】01760-4-171546、加入者名「浄土真宗本願寺派佐賀教区災害対策委員会」※通信欄には「8月九州北部豪雨義援金」と記し、受領

書の宛名をご記入ください。【問い合わせ】佐賀教区教務所、電話0952(23)7017。

令和元年台風第19号及び前線による大雨

10月6日3時に発生した台風第19号は、非常に強い勢力を保ったまま、12日19時前に伊豆半島に上陸し、13日12時に北海道の南東海上で温帯低気圧に変わった。西日本から東日本の太平洋側を中心に激しい雨が降り、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、新潟県に、大雨特別警報が発表された。関東地方と北陸地方では13日未明まで、東北地方では13日明け方ま

で広い範囲で雷を伴った非常に激しい雨が降り、猛烈な風が吹き、記録的な暴風となった。前線や低気圧の影響で、18日夜から19日夕方にかけて、25日から26日にかけて東日本太平洋側では局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降った。

宗派内では築地本願寺の本館窓ガラスの破損、築地本願寺各分院・説教所では雨漏りや浸水、長野県にある本願寺国府別院では本堂が雨漏りするなど多数の被害が確認されている。本派寺院57カ寺が被災、門信徒が被害を受けた寺院は77カ寺以上となっている(11月18日現在)。

築地本願寺では「災害義援金」を受け付けています。

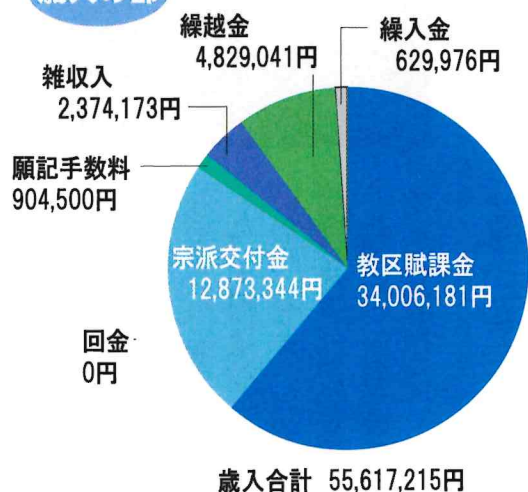
【銀行振替】みずほ銀行築地支店(店番015)普通1614721、加入者名「宗教法人築地本願寺支援金」。

【問い合わせ】築地本願寺 伝道企画部 庶務・経理担当、電話03(3541)1131。

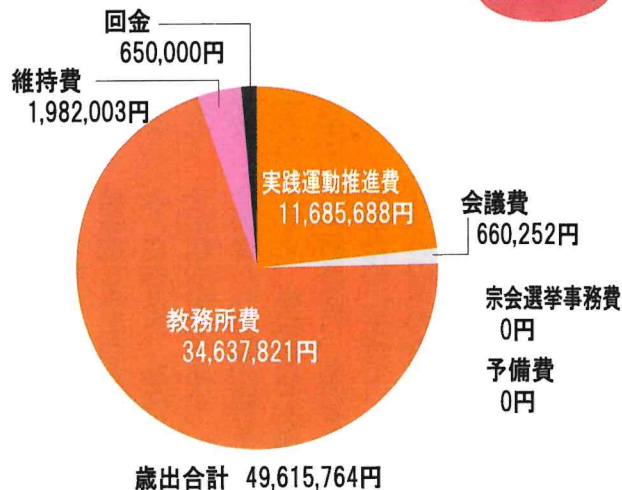
2018年度和歌山教区一般会計歳計決算

(2018年4月1日～2019年3月31日)

歳入の部



歳出の部



「和顔愛語」の原拠について

和歌山東組正善寺住職 吉田隆英

専ら門主が『念仏者の生き方』に引かれたことで「和顔愛語」の一語が脚光を浴びている。仏説無量寿経の上巻に見える言葉だが、「和顔」の初出は仏典でも儒学の古典でもなく、三国時代の魏の詩人・曹植の「洛神の賦」にあった。中国文学が専門の吉田隆英師(和歌山東組正善寺住職)が「和顔愛語」の原拠について調査された結果を本紙に寄稿くださった。

「和顔愛語」の典拠が『仏説無量寿経』(以下『大経』)にあることは周知のとおりである。すなわち、三国魏の嘉平年間(249-254)に、魏都洛陽に近い白馬寺において、ソグド人僧侶の康僧鎧によって翻訳された、と伝えられている『大経』にその表現が見える。ただし『大経』の訳者については古来異説も多く、北インド出身の僧仏跋闍陀羅(覺賢、359-429)と宝雲(376-449)が、南朝劉宋の永初2(421)年に都の建業(南京)において訳出したという、藤田宏達説が近年では注目を集めて

いるものの、それが定説と決まった訳ではない。

訳者についてはともかく、『大経』の「和顔愛語」という表現については、漢語である以上、更なる出典の追求が必要であることは言うまでもない。そして調査の結果、『大経』に先行する、より古い原拠が明らかになったので、ここに報告することとした。

それは、魏の建国者である曹操の第三子で、父操、兄丕とともに「三曹」のひとつとして文名のかい、詩人の曹植(192-232)の代表作のひとつである「洛神の賦」に、「収和顔而静志兮」(和

顔を収めて志を静め)

とあるのが、「和顔」の初出であろうと考えられる。

であるから、いわゆる儒学の「古典」にもとづくものではない。しかもこの「和顔」の主は作者自身であることに注意したい。よって伝統的に笑顔と解釈されている。

その上、「洛神の賦」については、その作品が作ら

賦

中国の漢・三国時代に流行した韻文の一つ。全編にわたって華麗な辞句を連ね、数十句から数百句に及ぶ長編が多い。句末に適宜押韻するが、一句の字数、一編の句数に決まりがなく、散文に近い。

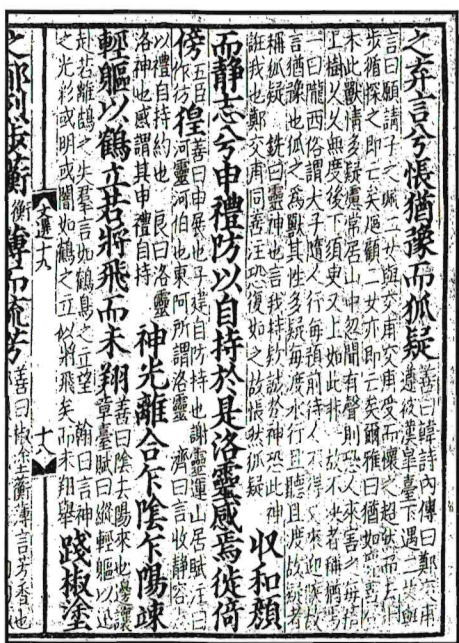
文の一つ。全編にわたって華麗な辞句を連ね、数十句から数百句に及ぶ長編が多い。句末に適宜押韻するが、一句の字数、一編の句数に決まりがなく、散文に近い。

れた年まで判明している。作者が文帝として帝位に就いた兄丕の召喚を受けて、黄初3(222)年に都に赴いて任地山東への帰途、夢うつつの間に見た、河南省南部を流れる洛水の女神宓妃の美しさを讃えた作品であるその賦は、後に『文選』に収められて、衆人の知るところとなった。

とすれば、『大経』の訳者康僧鎧は、その賦のことを知って、「和顔」の語を使用したであろうか。しかし、それについてはただちに断定することはできない。曹植が短い生涯を終えた後、丕の子の明帝(在位

227-239)が、植の作った詩賦百余篇を集めさせ、副本を作らせたと伝えられているけれど、その書がどれだけ流通したかは定かではない。

それより少し後のこと、魏を篡奪した晋の時代に、左思(250?-307?)が大作「三都の賦」を完成させると、その作品が大いに評判となって、皆が競って書き写そうとした結果、洛陽の紙価が高騰した、と伝えられているが、印刷技術が発明されていなかったその当時、文学作品を楽しむにも手写しするしかなかったという、現代からは



『文選』に収められた曹植作「洛神の賦」。「和顔」の初出とされる「収和顔而静志兮」の文字が見える

予想だにできない状況にあったことを忘れてはならない。情報伝達速度がきわめて遅かったのである。

従って、康僧鎧の周辺にいた漢人の翻訳協力者が、「洛神の賦」を眼にする機会があり、曹植の造りだしたその語を、『大経』の翻訳の際に使用した可能性は、皆無とは言えないものの、洛陽に近い白馬寺に居ながら、その賦の存在を全く知らなかったとしても何ら不思議ではない。一方、「愛語」という語は、中国の古典にも詩文にも、全く用例が見えないので、翻訳者たちが造りだした新語である可能性が高い。

『大経』はじめ「浄土三部経」中のさまざまな用語については、中国の古典もさることながら道教用語との関連性が高いことは、故福永光司教授により、つとに指摘されている。浄土三部経の主な語句について、その典拠を丁寧に調べ直すことは、骨は折れるが、試みるに値する作業であることに異論はなからう。

郷流十方

1~3月の催し

本山

1月1日 元旦会・修正会
1月8日 大御身(祖像の御身拭い式)
1月9~16日 御正忌報恩講

和歌山教区

1月8日 仕事始め(教務所)
1月9日 仏教壮年会連盟理事会(鷺森別院)
1月13日 仏教婦人会連盟

御正忌報恩講参拝(本願寺)
1月17日 賦課金調査検討委員会常任委員会(鷺森別院)、本願寺派仏教章取得のための研修会(鷺森別院)
1月18日 紀南開教布教(妙福寺、専光寺)
1月19日 門徒総代会剪定奉仕(鷺森別院)
1月24日 本願寺派仏教章取得のための研修会(鷺森別院)
1月25日 仏壮セミナー(鷺森別院)
1月29日 護持口数調整委員会(鷺森別院)
2月1日 組活動推進事業(和歌山北組浄永寺)
2月3日 ビハーラサロン(鷺森別院)
2月5~6日 本派矯正教化連盟大阪矯正管区支部連絡協議会一泊研修会(和歌山教区担当)
2月7日 本願寺派仏教章

取得のための研修会(鷺森別院)
2月8~9日 第3(近畿)ブロック仏教青年連盟研修会(和歌山教区担当)
2月11日 布教団連統法座(鷺森別院)
2月14日 勤式講習会(鷺森別院)、本願寺派仏教章取得のための研修会(鷺森別院)
2月15~16日 得度習礼講習会(鷺森別院)
2月17~18日 第3連区青年布教使研修会(和歌山教区担当)
2月21日 本願寺派仏教章取得のための研修会(鷺森別院)
2月28日 本願寺派仏教章取得のための研修会(鷺森別院)
3月4~5日 門徒総代会念仏奉仕団(西本願寺)
3月6日 本願寺派仏教章取得のための研修会(鷺森別院)
3月13日 勤式講習会(鷺森別院)
3月16日 仏教婦人会連盟清掃奉仕(鷺森別院)

教区内各組

和歌山組
1月未定 仏教婦人会連盟ダナ活動(鷺森別院)
1月未定 寺族女性会新年会(未定)
2月15日 門徒総代会、仏教壮年会連盟合同現地研修会(本願寺神戸別院)
2月未定 仏教婦人会連盟ダナ活動(鷺森別院)
2月未定 寺族女性会例会(眞光寺)
3月未定 仏教婦人会連盟ダナ活動(鷺森別院)
3月未定 寺族女性会例会(専念寺)
和歌山東組
1月11日 組内会(未定)
3月未定 キッズサンガ(未定)
3月未定 組会(未定)
和歌山西組
1月5日 組内会(長楽寺)
1月29日 寺族女性会新年会(未定)
2月2日 組内会(西勝寺)
2月未定 門徒総代会、仏

教壮年会合同研修会(万福寺)
2月未定 仏教婦人会役員会(覺圓寺)
3月1日 組内会(西勝寺)
和歌山北組
1月16日 仏教婦人会新年会(双子島荘)
2月1日 門徒総代会組活動推進事業研修会(浄永寺)
2月22日 実践運動推進協議会並びに研修会(教願寺)
3月7日 組会(教願寺)
加茂組
1月18日 組内会(浄満寺)
2月7日 坊守会(未定)
3月未定 組会(浄満寺)
海南組
1月20日 住職会(了賢寺)
3月7日 臨時組会(了賢寺)
海草組
1月18日 組内会(報徳寺)
3月4~5日 第7回組念仏奉仕団(本願寺)
伊那組
2月未定 実践運動推進僧侶研修会(未定)
3月未定 組会(未定)
有賀組
2月16日 実践運動研修会並びに鷺森別院常例法座参

拝(本願寺鷺森別院)
3月1日 門徒総代会総会・研修会(未定)、臨時組会(未定)
有田南組
2月未定 第9期門徒推進員養成連統研修会⑥(善照寺)
3月未定 組会(称念寺)
3月未定 第9期門徒推進員養成連統研修会⑥(円光寺)
有田北組
1月未定 仏教壮年会新旧役員会(浄應寺)
2月15日 第4回協議員会(教念寺)
2月未定 仏教婦人会連盟会長会(浄行寺)
3月7日 臨時組会(教蓮寺)
3月29日 仏教婦人会連盟総会・研修会(松林寺)
日高組
2月1日 第10期門徒推進員養成連統研修会⑦(未定)
2月15日 第3回組内会・実践運動推進僧侶研修会(未定)
3月7日 実践運動推進委員会(未定)
3月28日 定期組会(未定)

教区内各組の催し続々

御坊組

2月22日 門信徒研修会

(本願寺日高別院)

3月21日 組協議会(本願

寺日高別院)

紀南組

1月18日 紀南開教布教

(専光寺)

2月下旬 第5回キッズサ

ンガ(未定)

3月26、27日 第2回僧侶・

総代会・合同参拝研修(築

地本願寺他、関東(旧跡)

日高別院の催し

元旦会

1月1日、除夜会に引き

続き、午前0時30分ごろか

ら新年最初のお勤めである

元旦会を本堂で。正信念仏

偈行譜をお勤め後、仲尾信

博輪番が年頭あいさつ。

なお、12月31日23時30分

から行われる除夜会では、

本堂で讃仏偈をお勤めし、

仲尾輪番があいさつ。その

後、境内の鐘楼において参

拝者らが除夜の鐘を撞く。

■春季彼岸会・御坊市日

高郡戦傷病没者追悼法要

3月20日、午後1時30分

から春季彼岸会が勤修され

る。本堂で仏説阿弥陀經を

お勤めし、3時まで仲尾輪

番の法話を聴聞する。なお

「御坊市日高郡戦傷病没者

追悼法要」も併修される。

常例法座

1月20日、午後1時30分

から本堂で正信念仏偈行譜

をお勤めし、引き続き午後

3時まで庵戸真教師(檀原

市雲梯町・西應寺)の法話

を聴聞する。

(本願寺日高別院 御坊市

御坊100 電話0738

122-0518)

鷺森別院の催し

元旦会

1月1日、午前7時から

2階本堂で正信念仏偈行譜

をお勤め。その後、仲尾信

博輪番が年頭のあいさつ。

その後、お供えしたお酒を

参拝者に振る舞う(流盃の

儀が行われる。

■春季彼岸会

3月20日、春季彼岸会を

得度

8月

藤範依紗(和歌山北組照福寺)

中井 慶(日高組門行寺)

菅原稀香(日高組専福寺)

9月

太田正信(和歌山東組玄通寺)

10月

北島曉法(和歌山組法福寺)

12月

太田行信(和歌山東組玄通寺)

教師

8月

岩崎 信(日高組蓮専寺)

藤 倫(紀南組善福寺)

11月

藤本英史(和歌山北組正念寺)

敬吊

栗本 寛(和歌山西組徳号寺前坊守) 10月2日

玉置美津子(御坊組光徳寺坊守・衆徒) 10月6日

池上行洋(紀南組佛願寺住職) 10月24日

神谷 慧(紀南組勝徳寺前住職) 11月1日

佐々木節子(和歌山組専養寺前坊守) 11月8日

ご生前のご活躍(尽力に感謝申しあげ、謹んで敬弔の意を表します)

お勤めする。午前10時30分

から2階本堂で仏説阿弥陀

經をお勤め、引き続き法話を聴

聞する。

■常例法座

1月15、16日、庵戸真教

師(檀原市雲梯町・西應寺

)。2月15、16日、利國敦

之師(伊丹市下河原・浄源

寺)。3月15、16日、飯島

憲彬師(京都市中京区・明

福寺)。いずれも午後1時

から別院1階の書院で

お勤め、引き続き法話を聴

聞する。

■第16回孫市まつり

3月29日(日)、鷺森別

院と周辺を会場にして、孫

市の会(会長 森下幸生)

が主催する恒例の「孫市ま

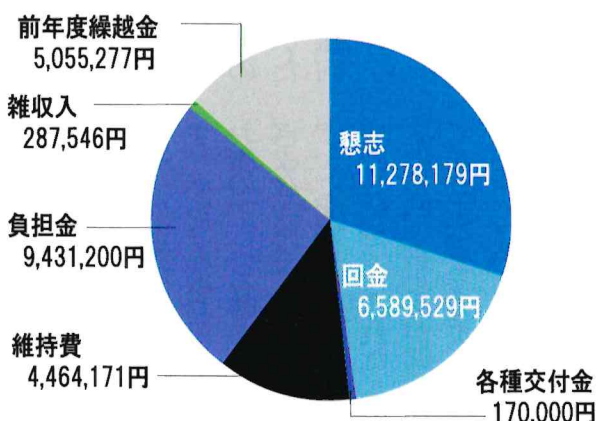
つり」が開催される。

2018年度本願寺鷺森別院 一般会計歳計決算

(2018年4月1日~2019年3月31日)

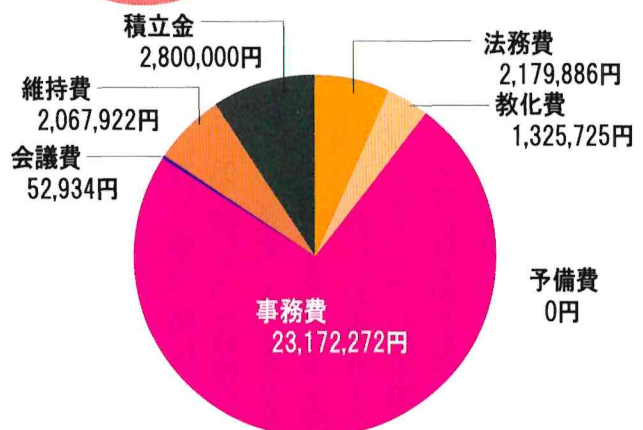
歳入の部

歳入合計 37,275,902円



歳出の部

歳出合計 31,598,739円



つれもて 聴こら

「阿弥陀如来の本願は
かならず救うまかせよと
南無阿弥陀仏の名となり
たえず私によびかけます

このよび声を聞きひらき
如来の救いにまかせるとき
永遠に消えない灯火が
私の心にともります
如来の大悲に生かされて
御恩報謝のよろこびに
南無阿弥陀仏を称えつつ
真実の道を歩みます

この世の縁の尽きるとき
如来の浄土に生まれては
さとり智慧をいただいて
あらゆるいのちを救います
宗祖親鸞聖人が
如来の真実を示された
浄土真宗のみ教えを
共によび広めます」

(『拝読 浄土真宗のみ教
え』「浄土真宗の救いのよ

「南無阿弥陀仏」は仏さまの「名乗り」

ろこび「本願寺出版社」

私たちは、「南無阿弥陀
仏」のお念仏は口に称える
だけのものだと思ってしまう
がちですが決してそうで

みなみ ま
南 眞 琴

はありません。口に称えさ
せていただいたお念仏をそ
のままお聞かせいただくこ
とが大切なのです。なぜな
らこのお念仏は「あなたを
必ず救う」という阿弥陀さ
まの呼び声だからです。

このお念仏は、名号とも
いいます。「名」という漢
字は名前の「名」です。こ

れを上下に分けてみますと、
夕方の「夕」と「口」に分
けられます。夕方は、昼の
明るい時間から次第に太陽
が沈み、あたりが薄暗く
なっていく時間です。この
薄暗い時間には辺りが少し
は見えますが、すれ違ふ人
の顔はなかなかはっきりと

す。自分の名前を口に出し
て相手に伝えるのです。つ
まり「名」という漢字には
そのままだ「名乗り」とか
「名乗る」という意味があ
ります。そして、名号の
「号」という漢字には「さ
けぶ」という意味があります。
ですから、南無阿弥陀仏

の名乗りは、私たちに必ず
救いのはたらきを届けよう
という大きな叫びなのです。
生まれたときから勝手に
「南無阿弥陀仏」とお念仏
を称える人はいません。人
それぞれさまさまな縁の
中でお念仏を聞かせていた
だき、この口から「南無阿

赤ちゃんがほかの誰でも
なく、お母さんに抱っこさ
れて安心していられるのは
お母さんのぬくもりと、声
や心臓の鼓動の音だそうで
す。赤ちゃんはお母さんの
お腹の中にいる時からさま
ざまなお母さんの音や声を
ずっと聞いて育つので、お
母さんに抱っこされたとき

にその同じ音や声が聞こえ
て安心するそうです。親の
呼び声や音やぬくもりに包
まれて、安心できる世界が
そこにはあるのです。

弥陀仏」と出てくださった
のです。それはまさに阿弥
陀さまの呼び声、叫び声が
この私に届いてくださった
からこそのことです。

昔から阿弥陀さまのこと
を親さまと呼ばせていただ
くことがあります。私たち
のことを何から何まで心配
し、必ず救うと常にはたら
き続けてくださるお姿は、
私たちの親のような、いや
親以上のはたらきをもった
有り難い仏さまかもしれま
せん。その阿弥陀さまの、

「私があなたの親ですよ」
との呼び声が南無阿弥陀仏
のお念仏なのです。

私たちは人生の中でさま
ざまな苦しみや不安を感じ
ながら生きています。時に
はああでもない、こうでも
ないと悩み、時には人間関
係が嫌になったり疲れたり
もします。そのような私が
阿弥陀さまの呼び声を聞き、
その救いにおまかせするこ
とによって、心に永遠に消
えない灯火がともり、安心
して生きていける世界が開
かれてゆくのです。

(福井県三方郡美浜町・妙
壽寺) 11月26日の鷺森別
院報恩講の法話から

